

2008年4月24日

AIGエジソン生命
再生パソコン430 台の寄贈を通して社会貢献

AIGエジソン生命保険株式会社(代表取締役社長:片岡 一則)は、環境保護、リサイクルを推進するとともに、地域社会への貢献事業の一環として、このたび、社内で不要となったパソコンを再生し、以下の団体に計430台を寄贈いたします。

- * 墨田区教育委員会
- * 足立社会福祉法人「あだちの里」の6施設 1
- * ICT教育推進プログラム協議会 2
- * アジア女子大学 3

墨田区は、当社所在地であり、AIGグループとのつながりも深く、今回寄贈するパソコンは、墨田区教育委員会を通じて、学校教育や生涯学習教育の充実及び地域の方々のパソコン学習に役立てられます。また、足立社会福祉法人「あだちの里」は当社が2006年から協賛している、グリーンリボンランニングフェスティバル 4に参加をしている東京都立足立特別支援学校の卒業生が通っている「知的障がい者援護施設」で、今回寄贈されるパソコンは、知的障がいを持つ方々の就労支援に役立てられる予定です。アジア女子大学では、大学の授業内での使用等、学生および教職員の教育目的に使用される予定です。

当社は今後もこのような取り組みを継続することで、社会貢献、環境保護活動に積極的に取り組んでまいります。

1 足立社会福祉法人「あだちの里」: 足立区所在の知的障がい者援護施設で、今回、梅田ひまわり工房、西新井ひまわり工房、西伊興ひまわり工房、竹の塚ふれあいセンター、竹の塚福祉園、竹の塚ひまわり園の6施設にパソコンが寄贈されます。

2 ICT教育推進プログラム協議会: 日本の小中高等学校等における情報コミュニケーション技術へのアクセス機会の拡大を通じ、教職員、児童、生徒の情報技術の向上を図り、情報化社会に貢献する人材育成に寄与することを目的に、平成15年11月に設立されました。今回この協議会を通じて、パソコンを全国の小中高等学校及び特別支援学校へ寄贈いたします。

3 アジア女子大学: 南アジア、東南アジアから中東にわたる地域の有望な女性に高いレベルの高等教育を受ける機会を提供するため、2008年4月にバングラデシュに開校した大学です。

4 グリーンリボンランニングフェスティバル: 臓器移植、臓器提供意思表示カードの普及・啓発を目的とし、移植者やドナーファミリー、一般ランナーが共に走るランニングフェスティバルで、当社は2006年より、社会貢献活動の一環として、このフェスティバルを特別協賛しています。